

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	群馬県木造住宅産業協会「つながる家」実行委員会			
H30採択グループ番号	07	—	0251	— 0190

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	実績のある工務店が、未経験工務店・非参加工務店へ、勉強会を開き事業内容の説明と、グループへの参加への啓蒙活動を行った。ならびに事例紹介を行い質疑応答を交え座談会と情報交換を行った。この件に関して地元新聞社の取材を受け、勉強会の内容が掲載され、一般の消費者へグリーン化事業の啓蒙活動を紹介することができた。多数の非構成員に対し省エネルギー技術者講習・設計者講習の受講の義務の旨を伝えた。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/09/11	名称	30年度つながる家グリーン化事業説明会		
	内容	実施見込み棟数の確認と、適用申請書の再確認を行った。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/01/26	名称	地域型住宅グリーン化事業採択グループ合同相談会		
	内容	地域広報誌主催のイベントへ参加した。場所・会場：前橋プラザ元気21において1月26・27日の2日間にわたり、グループで制作したポスターを掲示した。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/05/15	名称	第2回勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/03/12	名称	第3回勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/09/28	名称	世界遺産富岡製糸工場見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	第2回勉強会：「省エネ住宅」目指せスキルアップ！と称して勉強会を行い、経験工務店が、未経験工務店へパワーポイントを利用し、グリーン化事業のあらましや、補助金申請の相談受付及び、過去の事例紹介を行った。(長期優良住宅・低炭素・ZEH計3件) 参加状況：経験工務店7社 未経験・非構成員27社						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	第3回勉強会：「省エネ・ゼロエネ住宅」当たり前の時代と称して勉強会を行い、経験工務店が、未経験工務店へパワーポイントを利用し、グリーン化事業のあらましや、補助金申請の相談受付や過去の事例紹介を行った。(長期優良住宅・低炭素・ZEH計3件) 参加状況：経験工務店7社 未経験・非構成員20社						
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済		発行予定	
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	JIO、他第三者機関により、各社で管理している。	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有			
内容	前ブランド化事業及びグリーン化事業の建築物件・建築中物件については、構成員・事務局が協議の上、引き継ぐとする。			
② H30年度における施工構成員の廃業	有			
対応内容	前欄と同じ。			

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有			
内容	当該事業に当たらない物件については、すべてBELS評価を標準とすることを目標とする。			
省エネ化に対する取組 ②				
内容				
BELS工務店の登録数	3社			

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	群馬県木造住宅産業協会「つながる家」実行委員会			
H30採択グループ番号	07	—	0251	— 0190

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/18	名称	31年度つながる家グリーン化事業説明会		
	内容	採択決定後おおよそ1週間以内に開催する。 実施見込み棟数の確認と、適用申請書の再確認を行う。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2020/01/25	名称	地域型住宅グリーン化事業採択グループ合同相談会		
	内容	前年度と同様以上とする。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/11/12	名称	第4回勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2020/05/05	名称	第5回勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	前年度同様以上とする。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	前年度同様以上とする。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	BELS評価を標準とすることを目標にする。						
省エネ化に対する取組み (改修)							
内容							

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日					
内容							
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	群馬県木造住宅産業協会「つながる家」実行委員会				
H30採択グループ番号	07	—	0251	—	0190

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>〇ぐんま優良木材認証品を60%以上使用する。(主要構造部)〇日射条件を考慮し軒の出を深くし外つけブラインド又はよしず等を適宜に利用する。〇耐震等級3を確保する。〇耐風等級2を確保する〇耐力壁は偏心率0.15以下・4分割法の両方を満し、バランスよく配置する。〇躯体の高断熱化として各地域の外皮熱貫流率を基準値の10%を下回る値とする。〇自然換気を計画的にする(重力換気・卓越風の利用)〇太陽エネルギーの活用をする(太陽光発電・集熱式温水器等の設備機器の利用・日射蓄熱)</p>
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	ぐんま優良木材認証品を60%以上使用する。構造材使用材積は7.5立米以上とする。		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	無	
内容		
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	施工に関しては、建設業許可を得ているもとする。また省エネ施工に関しては技術者講習を受けなければ施工できないこととする。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	共通のメンテナンス書式を使用する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	無	
内容		
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	建築主にわかりやすい書式とし、一式見積もりを禁ずる。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	基本的に全事業所が実行している。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	勉強会・見学会を計画し実行している。
③ 社会保険への加入	有	内容	基本的に全事業所が加入している。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全講習会を実施予定。

II. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	群馬県木造住宅産業協会「つながる家」実行委員会				
H30採択グループ番号	07	—	0251	—	0190

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	最低限度、間取りにたたみコーナーの設置することを推奨する。
② 和瓦の活用	有	内容	和瓦を使用する場合は、耐震性を重視し、耐震瓦施工とする。
③ 襖・障子の活用	有	内容	間取りに和室を組み込むことを推奨する上で、制作建具を使用する。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	地域材を使用した自然素材の内装造りの推奨。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	地域と調和し風土を生かした形状を推奨する。(各地域の古民家等を参考にする)
② 地域の住まい方の継承	有	内容	躯体による日射遮蔽を重視する(切妻屋根・寄棟屋根・入母屋屋根によるデザイン)夏期の自然通風による排熱方法。(重力換気等による通風経路の確保)よすだれ・外付けフラインドの設置による日射遮。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	内外装に潔さ、安らぎ、和らぎ、穏やかさのある素材や様式を取り入れる。外構も含めた街並みに対する配慮を研修する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	被災地原産の資材を極力活用し産業復興に寄与する。		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	災害が発生した場合は、マニュアルに沿って点検を行い、履歴に記す。		